

Ⅶ 各主体の役割と計画の推進

1. 各主体の役割

温泉は、県民の生活や事業活動と密接に関わり合っています。この計画の目標を達成するためには、県民、事業者及び行政の各主体が、それぞれの役割に応じて、自主的、積極的に自らの役割を認識し、行動することが必要です。

(1) 県民の役割

「おんせん県おおいた」の県民として、多くの人々が温泉に関心を持ち、温泉のもつ魅力や有限な温泉資源への理解を深めていくことが最も重要な役割です。多様な泉質が湧出する県内の温泉を楽しく利用し、温泉療養や健康増進に利用することもその1つです。そのため、この計画に基づいて県及び市町村が実施する施策には、温泉を利用する立場から、積極的に参画し協力することが望まれます。

(2) 事業者の役割

温泉の掘削や利用は個々の事業活動として行われるものですが、温泉は県民共有の資源であり、事業者は自らの活動が温泉資源や周辺環境に影響を及ぼす可能性があることを認識し、温泉資源の保護や適正利用に積極的に取り組むことが求められています。

また、現に湧出している温泉の有効活用を進め、農業利用や地熱発電など多目的な温泉利用を行うことや、魅力ある温泉地づくりを進めるにあたっては、大きな役割が期待されています。

そのため、この計画に基づいて県及び市町村が実施する施策には、県民共有の資源である温泉を採取する立場から、事業者自らが積極的に取り組まなければなりません。

(3) 行政の役割

地域の住民との深い関わりを持つ市町村は、温泉資源の保護や温泉地づくりについて、地域の特性を踏まえた施策を住民や事業者と一体となって推進するとともに、住民や事業者の取組に対する支援や助言を行うことが期待されます。

県は、この計画において定めた基本目標を達成するために各種施策を実施するとともに、各主体が行う取組を推進するために必要な基盤づくりを行っていくことが必要です。また、温泉への理解醸成に向けた積極的な情報発信を行うとともに、この計画の推進に向けた普及啓発にも取り組んでいきます。

なお、この計画を達成するためにも、市町村とは緊密に連携するとともに、適切な役割分担により取組を進めていきます。

2. 計画の推進

この計画に掲げた各種施策を円滑かつ効果的に推進し、目標の確実な達成を図るため、計画の適切な進行管理を行うとともに、必要に応じ施策の見直しを行っていきます。

(1) 推進体制の整備

この計画に掲げた基本目標の達成に向けて、学識経験者等で構成される「大分県環境審議会温泉部会」により適切に進行管理を行い、関係部局と連携を図りながら必要な調整を行い、施策を推進していきます。

(2) 連携の強化

広域的な問題にも対応するため、国や他の地方公共団体、県内外の大学や研究機関等との連携を強化し、科学的かつ総合的な施策を推進していきます。

(3) 進行管理

この計画の基本目標の実現に向けて、「Ⅵ 具体的な施策」に掲げた施策を着実かつ効果的に推進していくためには、計画の適切な進行管理が不可欠です。

「大分県環境審議会温泉部会」等を中心に、PDCAサイクルを活用して、計画の総合的な推進・進捗管理を行います。

このため、この計画に基づき実施した施策の取組、事業の結果や実施状況を把握するために設定した数値目標である「関係指標」を「大分県環境審議会温泉部会」等に毎年度報告し、状況の確認、把握及び検証を行うことで適切な進行管理を行います。

なお、この計画は、今後9年間の温泉行政の基本方針を示す計画となりますが、温泉行政を取り巻く環境や社会情勢が大きく変化したときには、適切に対応していくために計画の見直しを行っていきます。

(4) 進捗状況等の公表

温泉の現状やこの計画に基づく施策の進捗状況及び目標の達成状況等について、「大分県環境審議会温泉部会」において審議された結果については、県庁ホームページ等により広く公表します。